

物価高下の小売業の在り方 USMHのケース



U.S.M. Holdings



About USMH | USMHの社会的使命

デジタルを基盤とした構造改革を推進し、
「**あらゆる人に食を届ける**」をめざして
協働と創発をくりかえし、地域社会に欠かすことのできない存在へ。

高コスト＆低収益体質

粗利率の低下、人件費・物流費の上昇

旧態依然な事業構造

競合との同質化、商品情報の伝達不足、生活者ジョブとのギャップ

構造改革

コスト改革

フォーマット改革

ワークスタイル改革

あらゆる人に食を届ける

Customer Job Well-being

Environment

Sustainable

オープン関係性

協働

創発

デジタル改革/新たなデジタル基盤

オープンな組織風土・戦略志向のリーダーシップ

To-Be Food Retail | USMH New Format



突き抜け鮮度
Distinctive Freshness



エンリッチ
Enrichment



商品との出会い
Serendipity



繋がり創出
Create Engagement

case | BLANDE - KASUMI



BEYOND Food Retail - UX | 顧客体験を最大化するDX





“新しいスタイルや信条、
次世代リテールの世界に情熱を燃やす”

USMHのオリジナルデジタルブランド
食品小売業に特化したプラットフォーム

ignicaサービス構成

Scan & Go

- これまでの店内 | 屋外のカスタマージャーニーを改め、OMOを前提にお客様の買い物体験を最大化する

BI

- クラウド上のPOS-DBを可視化

ネット宅配業務アプリ

- ピッキング & パッキング業務
- 予約商品の店舗分配
- 配送ドライバーのアサイン

店内接客アプリ

- S&Gサーバーと連動してギフト予約とサービスカウンター業務

従業員教育アプリ

- ゲーミフィケーション



Ignica POS

- S&Gと互換性を有たPOS決済

入退店ゲート(In-Out)

- S & GのQRを読み込み来店者情報取得、レジ固定費の削減

Ignicaサイネージ

- 店内広告とマーケティング
⇒SG利用時の位置情報を連動

ERP | SCM

- 在庫リアルタイム可視化
- 商品補充 & 需要予測
- 販売管理 & 仕入れ管理
- 共同倉庫 -WMS連携
- 予算管理、人的リソース管理

マイクロサービスモジュール x アジュール開発



購買サービス



バーコード
スキャン



My コード
スキャン



オンライン
デリバリー



フード
デリバリー



ECギフト



買い物
カート



お気に入り
リスト登録

販促サービス



ignica共通
ポイント



プロモーション
クーポン



時間帯別
クーポン



特典
オファー



ロイヤル
カスタマー



栄養価
チェック



商品
レコメンド

その他サービス



プロフィール
登録・設定



ロケーション
チェックイン



レシート
Eメール



ネットプロ
モータスコア



アンケート
実施・集計



配送元店舗
マッチング



ignicaのビジネス特許の取り組み

ignica開発

知財資産の蓄積
をはかる

→ ignicaによる行動プロセスの変革を知財(ビジネスモデル特許)と認識して蓄積をはかり、将来の収益化に備える

No.	サービス	関連モジュール	No.	サービス	関連モジュール
1	Non-disclosure		10	Non-disclosure	
2			11		
3			12		
4			13		
5			14		
6			15		
7			16		
8			17		
9			18		

開発中のサービスの
可視化

他社の出願状況探索

仮出願
左記18サービス

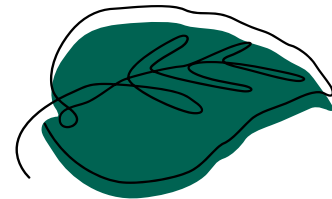
本出願
No11
出願番号:
2022-088406
2022年 5月31日

BEYOND Food Retail | 垂直農場 - TERRABASE(テラベース)





BEYOND Food Retail - SPA | 『小売』 から 『製造小売』 へ



green growers

グリーン グロウーズ

商品開発～販売を一気通貫で

商品開発
Development

生産
Production

流通(直送)
Distribution

販売
Sales

食卓へ
To table

いつでも
Any time

超高鮮度
high
freshness

高栄養価
High
nutrition

PLANTX
×
U.S.M.Holdings

U.S.M.Holdings



新たな食の開発・技術

冷凍食品の開発



肉・魚・惣菜など、鮮度を保ちつつ
冷凍の状態で多店舗へ供給することで
資産の有効活用と店舗オペレーション
変革へ寄与させる

冷凍技術による店舗効果想定

店舗インスト
ア作業軽減

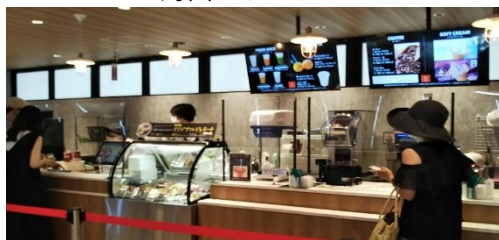
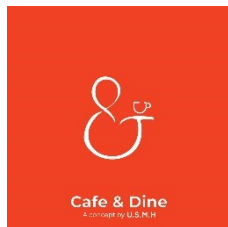
朝の立ち上げ
作業軽減

MH計画の
平準化

賞味期限延長
フードロス削減

カフェテリアの開発

対面カウンター



ショーケース(2Liter8バット)



パステライザー・バッチフリーザー



DELY
BREAD

商品MD開発プラットフォームの役割

従来個別展開していた産直生鮮や留型などを、One nameに統合。

“MiiL”とは、食事＝ミール（Meal）と、カスミ（KASU“MI”）を掛けた造語。

ミール カスミ



- ・カスミ新業態を意識し、「食品」ではなく「食事」を楽しむことを念頭に置いてシンプルなデザイン
- ・カスミレッドでカスミオリジナル性を出す

ミール カスミ
プレミアム



- ・高品質さを出すため、ゴールドを配色
- ・付加価値の高い商品（デリカやベーカリー）、高級路線の商品（嗜好品や限定品など）への使用をイメージ

ミール カスミ
マルシェ



- ・ハイパーローカル、新鮮さを”marché”で表現
- ・“野菜”をイメージした緑配色

BEYOND Food Retail | これからのリテール

You are What You Eat

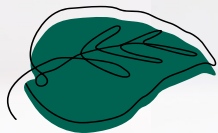
あなたのカラダは、あなたが食べたものでできている



Food for well-Being, Food for Sustainable



BEYOND Food Retail | BEYOND MEATとの協業



green growers
グリーン グロワーズ

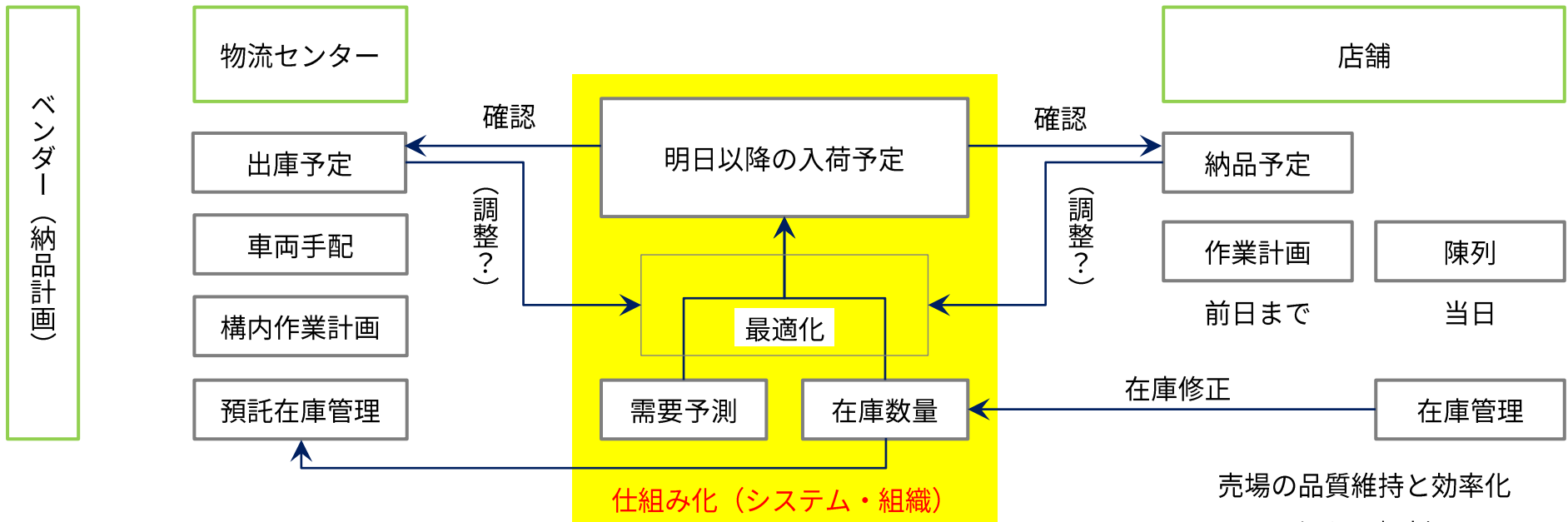
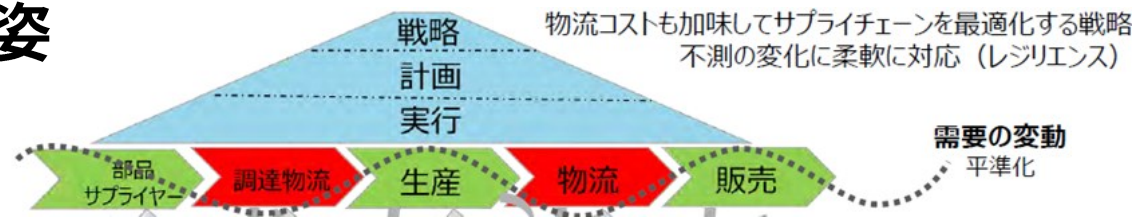


BEYOND MEAT®

2022.10
On STORE



SCM：あるべき姿



今後の進め方：① サービスブループリントに落とし込む ② 目標設定⇒トライ

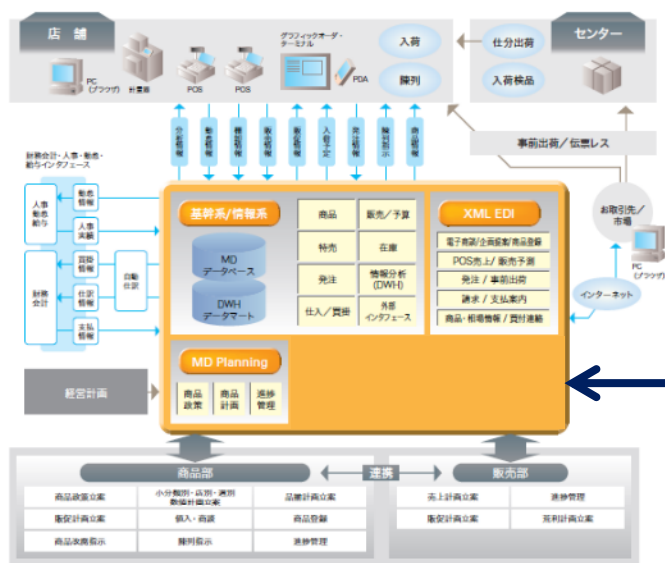


ソリューション：ODOO

UMSHでのODOOの3つの役割

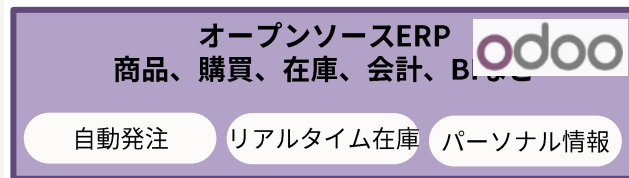
1. グループ統合機能 (U.S.M.H3社共通機能)
2. デジタル対応基幹 (リアルタイム化, クラウド化, マイクロサービス化)
3. レガシー運用・システムの課題解決 (a.業務面 b.ITインフラ面)

OpenCentral / OpenCentral plusの概要



現基幹システム

Scan&Go Web-EC デジタルサイネージ
リコメンドエンジン クラウド環境



外部連携 (Middleware)

DAM (デジタル資産管理) CRM (顧客管理)
PIM (商品情報管理) PM (決済管理)
CMS(コンテンツ管理) MA(マーケティングオートメーション)

クラウド環境

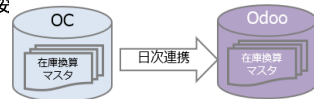
直近の進捗例 (ERP) …在庫可視化・精度向上

Odooの仕様上では、バッチシステムの「在庫テーブル」や「初期在庫のリセット」のような概念がなく、在庫に影響を与える実績を基に、**トランザクションデータから四則演算で指定時点の在庫を導く**。在庫精度向上は継続課題となり、今後も実情に応じて、必要なロジックの実装や、リカバリ体制の機能化を継続的に実施する。

FY22,3月

在庫荷姿換算機能V1

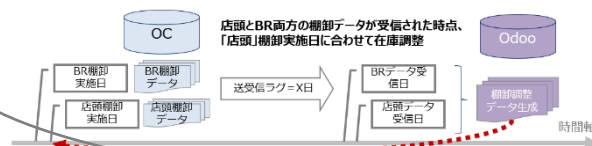
- ✓ OCの「在庫換算マスタ」をOdooへバッチ連携し、自動変換にてOdooマスタ生成。**下層荷姿品の在庫量がマイナスになった時点で、上層荷姿の在庫から自動換算。**
- ✓ 複数店舗間の在庫連携が可能。



FY22,5月

棚卸調整機能V1

- ✓ “過去日付 (=実施日ベース)” の棚卸データをOCから連携された時点で、**Odooが“棚卸実施日”に遡って、その日の在庫数を自動調整。**



FY22,6月

棚卸調整機能V1.1 (月次バッチ処理)

FY22,8月

入荷予定データの連携

- ✓ 当日店着分の**入荷予定データ (ASN)**を日中にOdooへ連携。
- ✓ ASNデータと入荷確定データのチェックプログラムを実施し、日次バッチで差分補填。

※在庫精度向上フェーズ3より前
倒し

Odoo在庫=トランザクションデータ

フェーズ1

FY21,6月

初期の同期設定

- ✓ OC → Odooへ時点在庫を同期し、**初期在庫設定。**
- ✓ OC → Odooへ仕入/販売/返品/廃棄など**在庫に影響する実績データとマスタをバッチ連携。**
- ✓ Odoo → OD連携。

FY21,8月

連携データのログ管理

- ✓ OC → Odooへ**バッチで連携されたデータをリネーム&アーカイブ**のロジックを実装。
- ✓ PCI開発側 (SE) による精度調査、在庫リカバリが可能。
※但し、工数がかかる。

FY22,5月

Ventor在庫修正機能V1

- ✓ 店頭でサイクルカウントを行い、**モバイル端末にて在庫修正機能**を実装。
- ✓ 修正履歴をログ管理し、可視化。

FY22,7月

Ventor在庫調整機能V1.1

- ✓ **Non-PLU (不定貨) 商品のJANコードスキャン**を実装。

FY22,6月

在庫リカバリの機能化

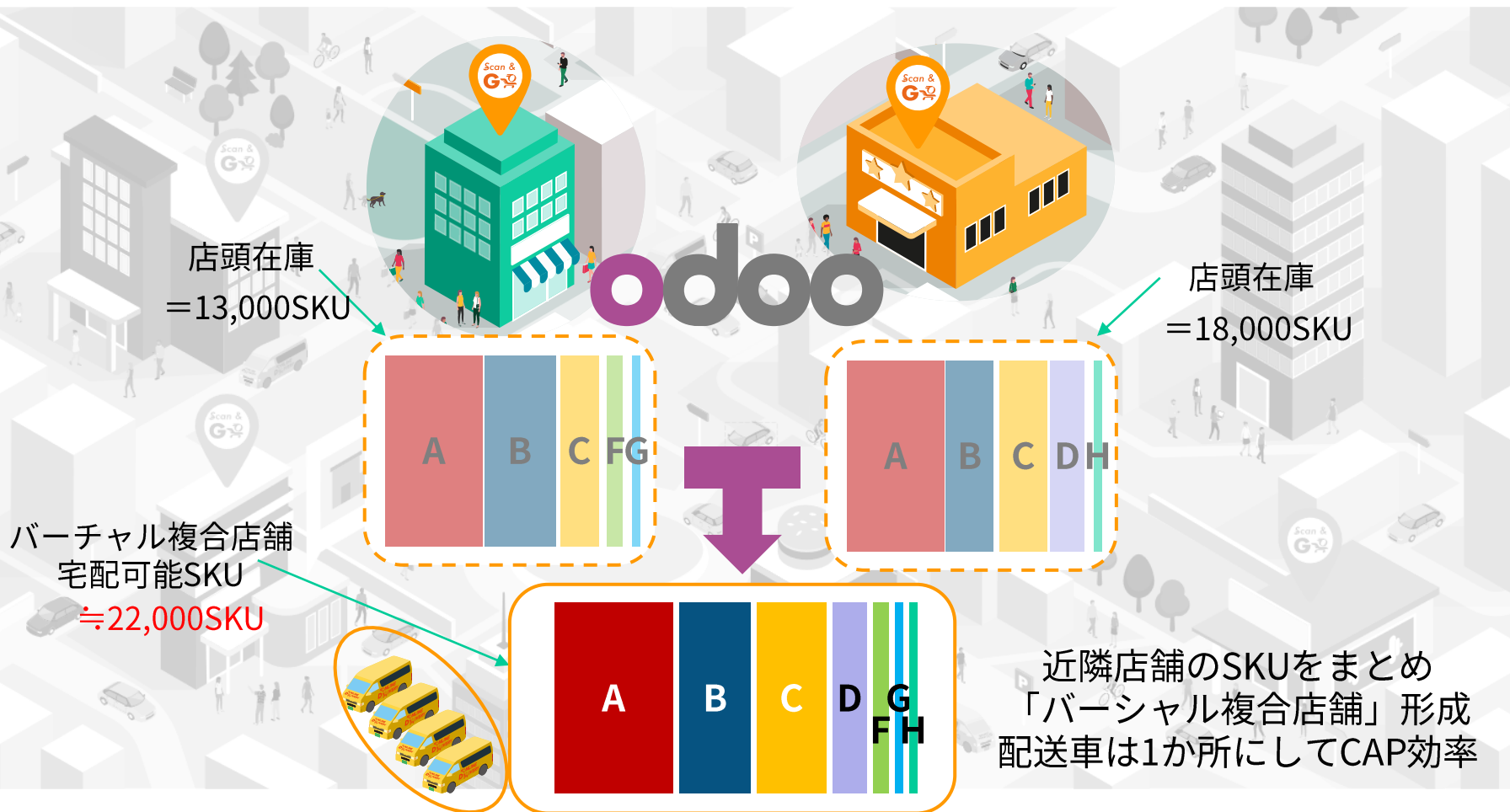
- ✓ **データリカバリーのチェックプログラム**を実装。
- ✓ **PCIのヘルプデスクによる監視、在庫リカバリがサービスイン。**
- ➔ **チェックプログラムを基に乖離データの自動修正ロジック**を実装。

FY22,8月

ignica POS連携

- ✓ Odooへ連携された販売データのソースを切替。OC経由せずに、**ignica POS → Odoo**ヘリアルタイム連携の環境を構築。

バーチャル複合店舗 | ドミナント構想





Open Innovation

AKIBA Runway

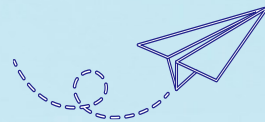
USMH版
協働と創発を繰り返す
オープンイノベーションスキーム





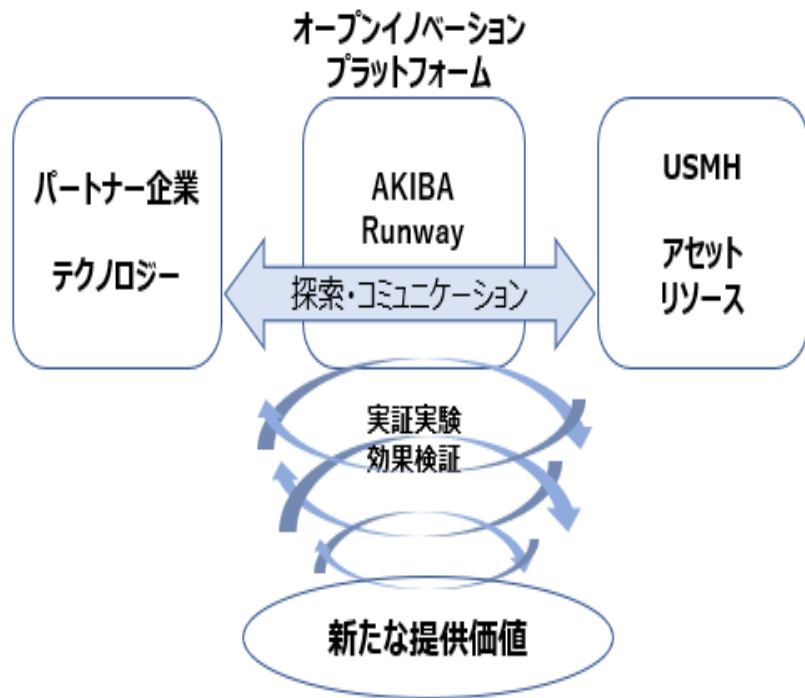
Think Outside the Box

グループの枠にとらわれない
ビジネスシーズの“場”づくり

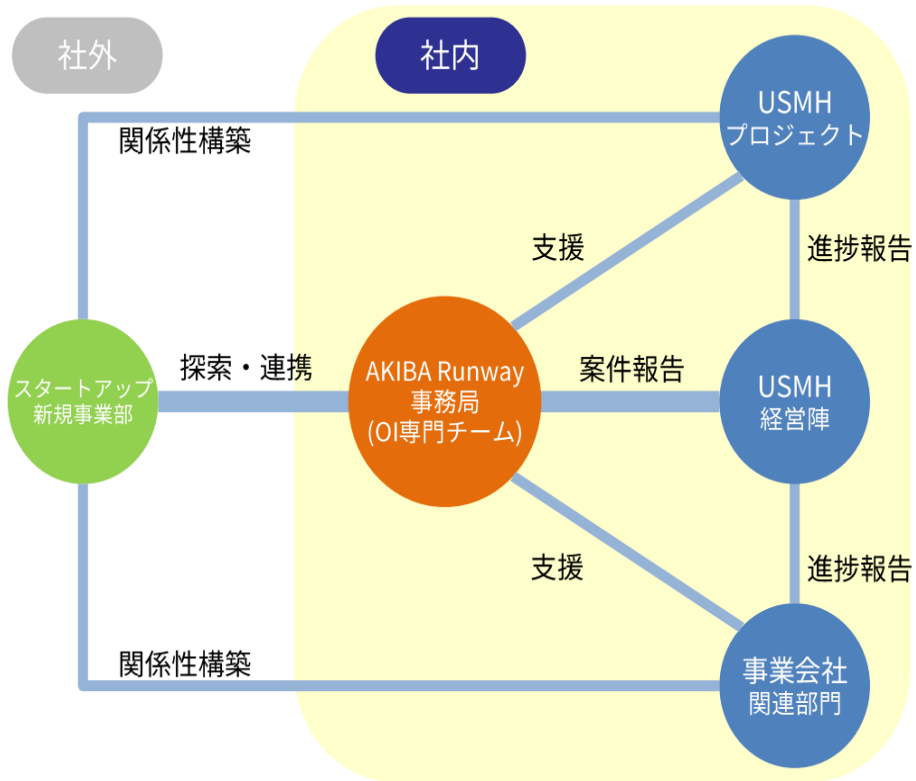


Akiba Runwayの役割

Akiba RunwayチームがUSMHと
外部企業の架け橋として機能的に動く



グループ間で密なコミュニケーションをとり
スピード感をもって新規取り組みに当たる



Innovation Scope | 2025年度までに解決すべき経営課題

2025年度までの経営課題

コスト領域

01

直間比率の引き下げ

- ・ 本部スリム化
- ・ 店内固定作業の省力化
- ・ 人件費、物流費、光熱費

コスト領域の経営課題

原材料

世界的な人口増加、燃料価格の高騰により、輸入食品の価格高騰は不可避

人件費

労働人口減少および最低賃金上昇による人件費高騰は不可避

物流費

2024年問題および燃料費高騰による物流費高騰は不可避

光熱費

発電コスト上昇による食品加工と店舗運営にかかる光熱費高騰は不可避

フォーマット領域

02

顧客満足の追求・MDの深化

- ・ 新たな小売フォーマット
 - ・ 商品ラインロビング
 - ・ 販売手法、差別化商品開発
- 新業態 4つの提供価値

突き抜け
鮮度

食べ時食材
鮮度の可視化、体現化

商品との
出会い

驚きある商品

豊かな
時間の
創出

真に欲しいモノ
買物の時短、身体負担解消
料理の時短

つながり
創出

生活者と従業員
生活者同士
生活者と既存コミュニティ

ワークスタイル領域

03

“費用”から“資産”への転換

- ・ 作業生産性の向上
 - ・ 専門知識の教育プログラム
 - ・ 多様な評価・処遇制度
- サービスプロフィットチェーンの実現

生産性
の向上

単純作業の省力化・省人化

人材
育成

URCAカリキュラムの充実

企業風土
の变革

多様性を前提とした人材
評価・処遇制度

デジタル領域

04

新しい働き方への適用

- ・ 顧客体験の創造
- ・ 店舗デジタル | OMO
- ・ Ignica for Life | Store | Work

顧客体験を最大化するignica

ignica
for Life

OMO前提の買物体験
Scan & Go

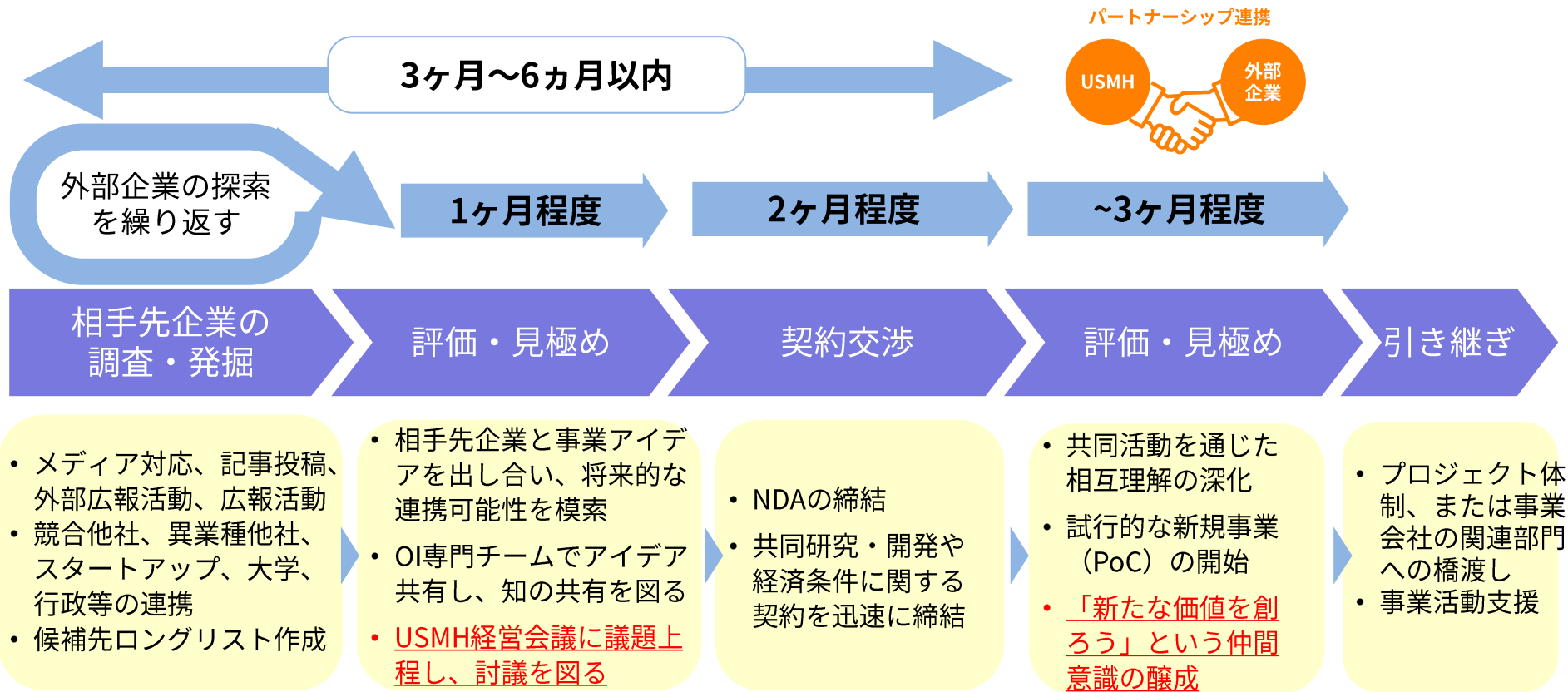
ignica
for
Store

SGと互換性ある店舗IoT
顧客トランザクションの
データ可視化

ignica
for Work

ワークスタイル改革の基盤

Time Schedule | アジリティを前提とした探索活動





AKIBA-Runway@usmh.co.jp